

令和3年度健保決算の報告

本年7月に行われました健保組合会にて、令和3年度決算が承認されましたのでご報告いたします。

健康保険関連

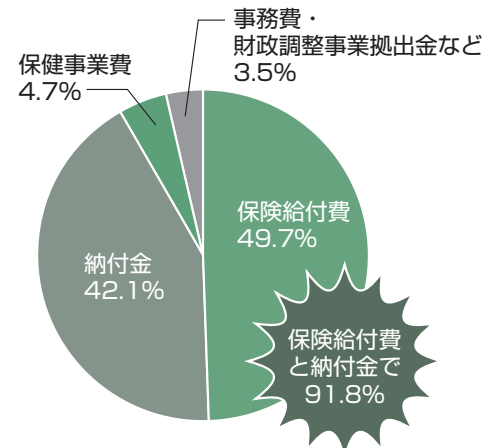
令和3年度においては、前年度(令和2年度)の新型コロナウイルス感染の影響による受診控えの反動からか、療養給付費や家族療養費が増加して、保険給付費(医療機関への支払分、本人からの請求による現金給付など)全体で前々年度(令和元年度)をも上回りました。納付金全体では令和2年度より減少していますが、保険給付費との合計額は2,478,669千円です。これは、健康保険収入の81.5%、支出全体の91.8%に当たります。

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
健康保険収入	3,042,177	事務費	46,828
調整保険料	45,534	保険給付費	1,343,045
繰越金	708,406	納付金	1,135,624
繰入金	100,000	保健事業費	127,687
財政調整事業交付金	11,992	財政調整事業拠出金	45,411
国庫補助金収入	1,296	その他	1,544
その他	2,171		
計	3,911,576	計	2,700,139

※経常収支：389,488千円

支出をグラフでみると…



納付金の内訳

(単位：千円)

前期高齢者納付金	377,697
後期高齢者支援金	757,902
病床転換支援金	2
退職者給付拠出金	23

※健康保険収入の約37.3%を拠出

令和3年度は、前年度に続き特定保健指導を中心に保健事業費の支出を増やしました。日常生活習慣見直しの重要性については、加入者の皆様に認識いただいていると思われまます。健保の独自性を発揮できる保健事業は「健保組合の生命線」といえます。加入者の健康づくり、健康増進に寄与する保健事業をこれからも展開してまいります。

介護保険関連

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
介護保険収入	412,836	介護納付金	374,999
繰越金	46,132	その他	107
繰入金	8,000		
国庫補助金収入	0		
計	466,968	計	375,106

高齢者の増加に伴って、国に納める介護納付金は年々増加しており、繰入金等を加えることにより運営ができています。

健康診断、もう受けましたか？

運動不足、間食の増加、ストレスで食べすぎ・飲みすぎ…
コロナ禍での生活習慣の変化による健康状態の悪化が指摘されています。
そんな今だからこそ、健康診断で体の状態をチェックし、生活習慣を見直すことが大切になっています。

健康診断の流れ



案内を受け取る

被保険者の方は「定期健康診断受診の案内」、ご家族(40歳以上の被扶養者)の方には「健康診断受診の案内」が届きます。

被保険者は会社から案内があります。被扶養者の方にはご自宅へご案内を送付します。



受診する

仕事などの予定を調整のうえ、健康診断を受けてください。

費用は**0円!!**

※特定健診の場合。
健保が全額負担します。



結果を確認

受診後、結果が届いたら必ず確認をしてください。

「要治療」「要再検査」「要精密検査」の項目があった場合は、必ず医療機関を受診しましょう。

健康診断の結果、メタボのリスクが高いと判定された方は…



特定保健指導を受ける

特定保健指導は管理栄養士などの専門家による**無料**の生活習慣改善プログラムです。メタボのリスクが中程度の方向けの「動機付け支援」と、メタボのリスクが高い方向けの「積極的支援」があります。対象の方にはご案内が届きますので、受け取った方は、ぜひご利用ください。

初回面談

専門家のアドバイスを受けて、ライフスタイルにあった改善メニューを決めます。

生活習慣改善にトライ(3~6カ月)

積極的支援は、メールや電話などによるサポートがあります。

効果を確認



注目

特定保健指導はご家族(被扶養者)も対象です

ご家族の方が健康であるからこそ、被保険者の皆さんも安心して仕事ができます。特定保健指導の対象になった方は、積極的に参加しましょう！

ご注意ください

- 被扶養者及び任意継続被保険者にご案内する「特定健診」と「人間ドック」を重複して受けることはできません。
- 被保険者(任意継続を除く)の場合、定期健康診断と重複する項目は、人間ドック利用補助の対象にはなりません。
- 人間ドックを受ける方はいったん費用全額をお支払いいただいた後に、人間ドック利用補助金を健保組合に請求してください。